

NACCSの概要

NACCS（輸出入・港湾関連情報処理システム：Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System）は日本の港湾・空港に入出港する船舶・航空機及び輸出入される貨物について、関係行政機関に対する手続及び関連する民間業務をオンラインで処理する総合物流情報プラットフォームです。

輸入における船舶・航空機の入港から、貨物の取り卸し、国内引取りまで、輸出における貨物の保税地域への搬入から船積・搭載、出港までの輸出入等に係わる一連の手続を処理します。

現在、NACCSは港湾関連業界では船会社232社、船舶代理店970社、コンテナヤード426社（H30年12月末現在）等の多くの方々にご利用いただいています。

港湾関連手続のシングルウィンドウ化

海上貨物と航空貨物を取り扱う民間のお客様は、NACCSを利用して関係省庁への様々な行政手続を行うことが可能です。

この諸手続の中から、港湾関連省庁の部分の説明しますと、出入国在留管理局への提出が必要な入港届・出港届、入港通報、税関への提出が必要な入港届・

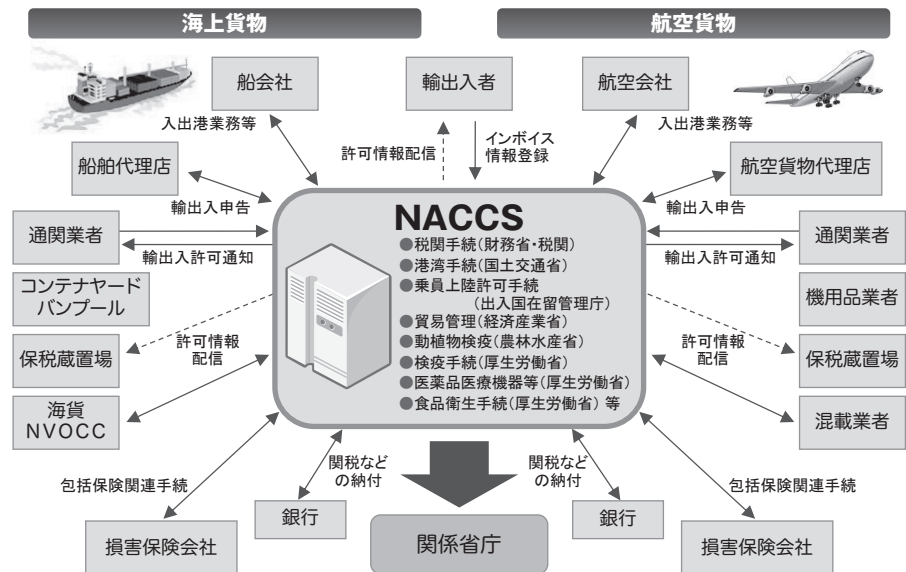


図1 輸出入等関連手続

出港届、乗組員・旅客に関する事項の報告等、検疫所への提出が必要な明告書、入港通報等、港長への提出が必要な入港届・出港届、危険物荷役許可申請等、海上保安部署への提出が必要な船舶保安情報、海上交通センターへの提出が必要な航路通報、地方運輸局への提出が必要な保障契約情報及び港湾管理者への提出が必要な入港届・出港届、係留施設使用許可申請等、申請する内容は省庁毎に異なり、かつ申請するタイミングも入港前、入港時等、申請毎に異なります。

NACCSを利用することにより、複数の行政機関に対する手続を、お客様が一回の入力・送信で行うことが可能とするシングルウィンドウを実現しています。

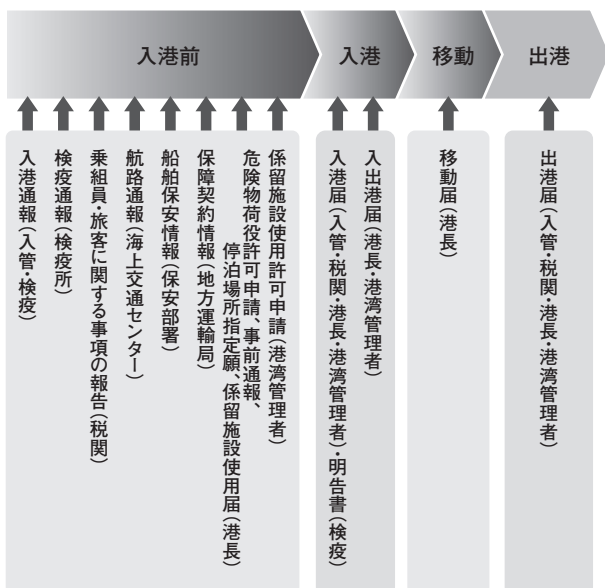


図2 船会社からみた日本の港湾関連手続の流れ（抜粋）

NACCSで実現できる主な効果

NACCSで実現できる主な効果として、以下の諸点を挙げる事ができます。

①物流の円滑化・迅速化

通関・入出港手続などが速やかに処理されるため、貨物の到着から引取り（集荷から搭載）までの時間が大幅に短縮されます。

②行政手続等の効率化

輸出入通関・入出港手続等を行う際、関係省庁へ出向く必要がなく、事務負担の低減、行政手続の迅速化が図れます。

③情報の有効活用・情報サービスの向上

関係者間で情報の共有ができます。また貨物の状況や手続の進捗状況をリアルタイムに把握することができます。